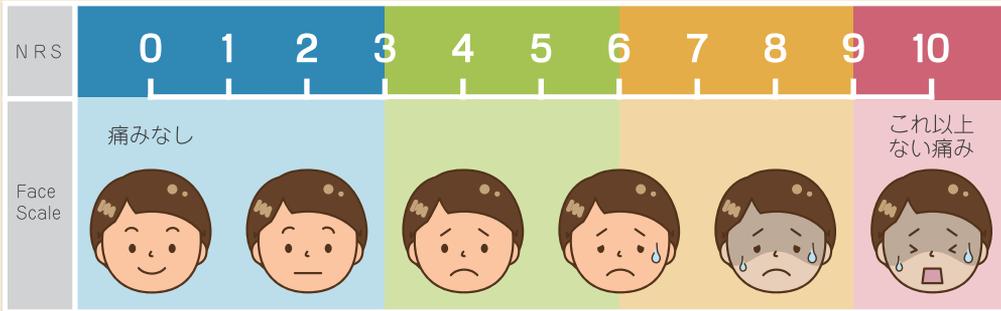


オピオイド換算表

評価ツール

● 身体症状の確認

◆ NRS (Numeric Rating Score) / Face Scale



※ 痛みなど、身体症状には個人差があります。

変更方法	変更(薬)	先行(薬)
先行薬の最後投与の12時間後を目安に貼付し、次回より変更薬のみ	フェンタニル貼付剤	1日1回内服製剤
先行薬と同時に貼付し、次回より変更薬のみ		1日2回内服徐放製剤(経口)
変更薬の開始2時間後を目安に先行薬の減量~中止	1日2回内服徐放製剤(経口)	静注皮下注製剤
変更薬の開始2時間後を目安に先行薬の減量~中止		
貼付6~12時間後を目安に先行薬の減量~中止		
先行薬を剥がして12時間後を目安に変更薬開始	1日2回内服製剤	フェンタニル貼付剤
	静注皮下注製剤	

※ ご不明な際はご連絡ください。(緩和医療チーム)

◆ オピオイド鎮痛薬の投与経路(製剤)の変更例

スジ入れ

スジ入れ

● オピオイドの種類と投与経路による換算方法



*レスキュー投与量(1回) 内 服：1日量の1/6量を1時間毎再投与可
 持 続 注：1日量の1/24(1時間量)の早送りを30分毎再投与可
 フェンタニルパッカル：50μg(モルヒネ経口<60mg)/100μg(モルヒネ経口≥60mg)から開始
 (投与法は継続指示(共通)テンプレートを使用してください)
 *モルヒネ硬膜外投与は経口の1/10-1/20 くも膜下投与は経口の1/100

◀ スジ入れ

経口徐放製剤	モルヒネ	20~30(25)mg	30~90(60)mg	90~150(120)mg	150~210(180)mg	210~270(240)mg
	オキシコドン	10~20(15)mg	20~60(40)mg	60~100(80)mg	100~140(120)mg	140~180(160)mg
	ヒドロモルフォン	6mg	12mg	24mg	36mg	48mg
経口速放製剤	モルヒネ (高齢、腎障害)	5(2.5)mg	10(5)mg	20(10)mg	30(15)mg	40(20)mg
	オキシコドン	2.5mg	5~10mg	10~15mg	15~20mg	20mg
	ヒドロモルフォン	1mg	2mg	4mg	6mg	8mg
坐 剤	モルヒネ	20mg	20~60mg	60~90mg		

◀ スジ入れ

注射 口腔粘膜吸収製剤	塩酸モルヒネ	10~15mg	15~45mg	45~75mg	75~100mg	100~140mg
	フェンタニル	~0.3mg	0.3~0.9mg	0.9~1.5mg	1.5~2mg	2~2.7mg
	オキシコドン	15mg	30mg	60mg	90mg	120mg
	ヒドロモルフォン	1.25mg	2.5mg	5mg	7.5mg	10mg
貼付剤 (経皮吸収製剤)	フェンタニル 1日製剤	1mg	2mg	4mg	6mg	8mg
口腔粘膜吸収製剤	パッカル錠	50μg	50 or 100μg	100μg	100μg	100μg
	舌下錠	100μg	100μg	100μg	100μg	100μg